第三者による業務改善支援又は介護現場における生産性向上の取組に関する

研修・相談等の計画

（１）研修・相談

いずれかに○

|  |  |  |
| --- | --- | --- |
| Ａ | 第三者による業務改善支援 | ○ |
| Ｂ | 介護現場における生産性向上の取組に関する研修 | ○ |
| Ｃ | 介護現場における生産性向上の取組に関する相談 | ○ |

Ａ、Ｂ、Cいずれかを記載する。

（２）研修・相談の内容

Ａ　【第三者による業務改善支援を受ける場合】

|  |  |
| --- | --- |
| 業務改善の支援をする者（第三者） | 支援する事業者名：株式会社○○○　　　　　　　　　　　　○○社会保険労務士事務所　等※本事業の実施や個別の契約がなければ業務改善支援を行う立場になりえない事業者であること。 |
| 支援計画 | ※以下に記載又は、契約の仕様書等の添付。○支援第1回　（令和6年9月11日）（内容）課題抽出、分析○支援第2回　（令和6年9月11日）（内容）業務改善の計画作成、テクノロジー活用のための助言○支援第3回（令和6年11月1日）（内容）取組の見直し、改善支援※第3回以降は必要に応じて追加すること。【オンデマンド掲載場所】https://www.mhlw.go.jp/stf/kaigo-seisansei\_forum.html |

Ｂ　【研修を受ける場合】

様式第1号「業務改善計画書」③研修等への参加状況の研修名と一致すること。

|  |  |
| --- | --- |
| 研修名 | 厚生労働省「生産性向上の取組に関する介護事業所向けビギナーセミナー（フォローアップセミナー）」厚生労働省「生産性向上ビギナーセミナー」　など |
| 研修日 | 研修受講日、（オンデマンドの場合）視聴日令和6年8月31日 オンデマンド |
| 受講者 | 管理者、リーダー、職員 |
| 研修内容 | 介護現場における業務改善の考え方業務改善のステップと取組ポイント |
| 研修内容をどのように生産性向上の取組に活かすか | （例）人手不足で職員の負担感が大きかった。セミナーを参考に課題の洗い出しと因果関係の分析を行った結果、無理な1人介助の回数が多く、腰痛を訴える職員の増加、職員の離職、人手不足という循環に陥っていることが分かった。このため、移乗支援ロボットを導入し、併せて、無理なく1人介助できるような業務フローを検討していく。 |

Ｃ　【相談する場合】

|  |  |
| --- | --- |
| 相談先 | 介護生産性向上総合相談窓口（介護支援センター） |
| 相談日 | 令和6年8月10日 |
| 相談内容 | 導入機器の活用方法について |
| 相談支援をどのように生産性向上の取組に活かすか | 事故防止のために見守り機器を活用していきたい。事業所内のルールを定めたマニュアルを作成しようと思うが、事故防止の観点から、記載内容に助言をもらいたい。 |